

平成27年7月15日

各位

大同生命保険株式会社  
代表取締役社長 工藤 稔

<大同生命 特別展示>

## 『大同生命の源流 “加島屋と広岡浅子”』 一般公開のお知らせ

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長 工藤 稔）は、当社が創業110周年を迎えた平成24年度より、当社の礎を築いた大坂の豪商“加島屋”に関する歴史的文書等を大阪本社（大阪市西区／加島屋本家跡地）に展示し、一般公開してまいりました。

今回は、成瀬仁蔵に宛てた直筆の書簡（日本女子大学所蔵・初公開）など、当社創業者の一人である“広岡浅子”に関する展示を拡充して、平成27年7月25日（土）よりリニューアルオープン（後援：大阪市、大阪市教育委員会、大阪商工会議所）いたします。

かじまや

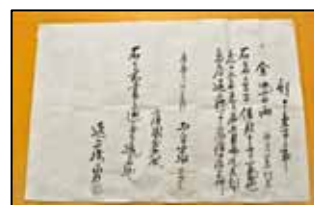
### 1. 大坂の豪商 “加島屋”

江戸時代初期に精米業から身を起こしたと伝えられている「加島屋の歴史」、活躍の舞台であり「世界最先端の金融市場」とも言われた堂島米会所、大名貸しを中心とした「加島屋のビジネスモデル」をご紹介します。また、江戸時代、幕府の金融政策における加島屋の関わり、新撰組など歴史上の著名な人物と加島屋のつながりを、当社に残る資料や記録からご紹介します。

なお、展示会場である大阪本社は、加島屋本家の跡地に建設されています。



▲ 加島屋本家



▲ 新撰組借用書

きゆうてんじゆっせい

### 2. 九転十起生 “広岡浅子”

大同生命創業者の一人、広岡浅子。七転び八起きを超える「九転十起」の精神で実業界に身を投じ、炭鉱・銀行・生命保険と多くの事業を手掛けました。そんな彼女の生涯と活躍を、ともに生き、支えあった家族や実業界の人物との関係とあわせてご紹介。同時に、浅子が日本女子大学校創設者・成瀬仁蔵に宛てた直筆の書簡（日本女子大学所蔵・初公開）から、経営者・広岡浅子の実像に迫ります。

なお、広岡浅子は平成27年度後期連続テレビ小説「あさが来た」（NHK）のヒロインのモデルとなりました。



▲ 広岡浅子  
(1849～1919)



▲ 広岡浅子直筆の書簡  
(所蔵：日本女子大学)

**【初公開】**

### 3. 展示の概要 ※詳細は別紙リーフレット参照

1. 展示名	特別展示『大同生命の源流“加島屋と広岡浅子”』 主催：大同生命保険株式会社 後援：大阪市、大阪市教育委員会、大阪商工会議所
2. 会場	大同生命大阪本社 2階 メモリアルホール（大阪市西区江戸堀1丁目2番1号） ※地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」下車すぐ（1-A、1-B出口）
3. 入場料	無料
4. 展示内容	大同生命の礎を築いた大阪の豪商“加島屋”と、大同生命創業者の一人である“広岡浅子”を大同生命に残る歴史的資料や記録から紹介
5. 公開開始日	平成27年7月25日（土）
6. 公開期間	[火～金] 10:00～19:00（入館は18:30まで） [土・日・祝] 10:00～16:00（入館は15:30まで） ※月曜日（祝日を除く）は団体貸切日（要事前予約） 電話またはFAX（次の①～③の事項を必ず明記）でお申し込みください。 ①団体名（フリガナ）、②代表者氏名（フリガナ）・連絡先、③希望日時 TEL：06（6447）6263 [団体予約専用ダイヤル 平日10:00～17:00] FAX：06（6459）1142
7. 休館日	平成27年11月22日（日） 平成27年12月29日（火）～平成28年1月4日（月） ※その他臨時休館する場合があります

以上

〔お問合せ先〕 広報課 TEL 03-3434-9190

# 大同生命の源流 広岡浅子



広岡浅子  
(1849-1919)

大同生命の創業者の一人である広岡浅子。平成27年度後期連続テレビ小説「あさが来た」(NHK)のヒロインモデルとなった人物です。

広岡浅子は京都・油小路出水の三井家に生まれ、17歳の時に大坂屈指の豪商・加島屋に嫁ぎます。明治維新を迎えて加島屋が危機に瀕する中、浅子は経営の立て直しに奔走。旧来の大名貸し中心であった加島屋を、炭鉱、銀行、保険など近代的な企業グループへと変える中心的な役割を果たします。また社会活動家として、日本女子大学の開学に尽力し、しばしば新聞や雑誌に寄稿して女子の社会進出の必要性を説きました。

大同生命の初代社長は加島屋当主であった広岡久右衛門正秋ですが、生命保険業への参入には浅子の英断に負うところが大きかったと伝えられています。

今回の特別展示では、浅子の生涯や浅子と関わりのあった人々などを紹介するとともに、新たに日本女子大学で確認された浅子直筆の書簡からわかる経営者としての浅子の姿など、あらゆる角度から大同生命の創業者の一人“広岡浅子”を知っていただければと思います。

## 広岡浅子略年譜

1849 (嘉永2年)	10月18日京都・油小路の出水三井家(後の小石川三井家)に生まれる。
1865 (慶応元年)	4月 17歳で加島屋8代目当主・広岡久右衛門正秋の次男・広岡信五郎と結婚。
1884 (明治17年)	広炭商店開業(社長は夫の広岡信五郎)。石炭業に進出する。
1888 (明治21年)	加島銀行設立(頭取は広岡久右衛門正秋)。
1895 (明治28年)	澗野炭鉱(福岡県飯塚市)の再開発開始。自ら炭鉱に赴き、ピストルを懐に鉱山に入り、鉱夫達と起居を共にして監督したと言われている。
1896 (明治29年)	成瀬仁蔵と出会い、女子高等教育の必要を説く成瀬に大いに共感。女子大学設立の支援を開始する。
1899 (明治32年)	広岡久右衛門正秋、真宗生命の代表取締役社長に就任。保険業へ進出する。同年真宗生命を朝日生命と改称、本社を名古屋から京都に移す。
1901 (明治34年)	浅子の支援が実り、日本女子大学開校。
1902 (明治35年)	朝日・護国・北海の三社が合併し、大同生命保険株式会社創業(社長は広岡久右衛門正秋)。
1904 (明治37年)	夫・信五郎死去。これを機に社業を女婿の広岡恵三(大同生命2代社長)に譲って経営の一線から退き、社会活動に専念する。
1914 (大正3年)	静岡県・御殿場で夏期勉強会を主宰。以降、毎夏女性のための勉強会を開催。参加者は井上秀、小橋三四子、市川房枝、村岡花子など。
1919 (大正8年)	1月14日 東京で死去。享年71。

※年齢は全て数え年

## 大同生命保険株式会社 特別展示

### 大同生命の源流“加島屋と広岡浅子”

主催：大同生命保険株式会社 後援：大阪市 大阪市教育委員会 大阪商工会議所

#### ■ 会場

大同生命大阪本社 2階 メモリアルホール

※1階受付よりご入館下さい。

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目2番1号

電話：(06)6447-6111(代表)

大同生命WEBサイト：<http://www.daido-life.co.jp/>

#### ■ 交通のご案内

地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」下車 すぐ

(1-A、1-B出口)

地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」下車 徒歩5分

京阪電鉄中之島線「渡辺橋駅」下車 徒歩5分

#### ■ 公開期間

平成27年7月25日(土)～

#### ■ 開館時間

平日(火-金) 10:00～19:00(入館は18:30まで)

土・日・祝 10:00～16:00(入館は15:30まで)

※月曜(祝日を除く)は団体貸切日(要事前予約)

#### ■ 休館日

平成27年11月22日(日)、平成27年12月29日(火)～平成28年1月4日(月)

※その他臨時休館する場合がございます。詳しくは大同生命WEBサイトをご確認下さい。

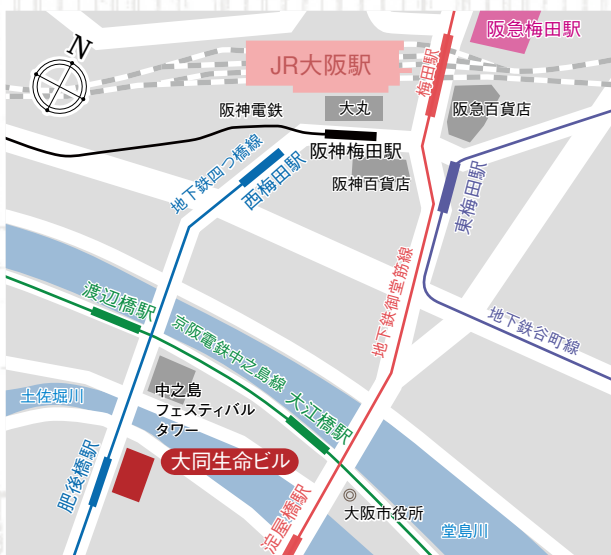
●入館は無料です。

●本社ビル内での飲食・喫煙はできません。

●駐車場はございません。会場へお越しの際は公共の交通機関をご利用ください。



▲大同生命大阪本社ビル

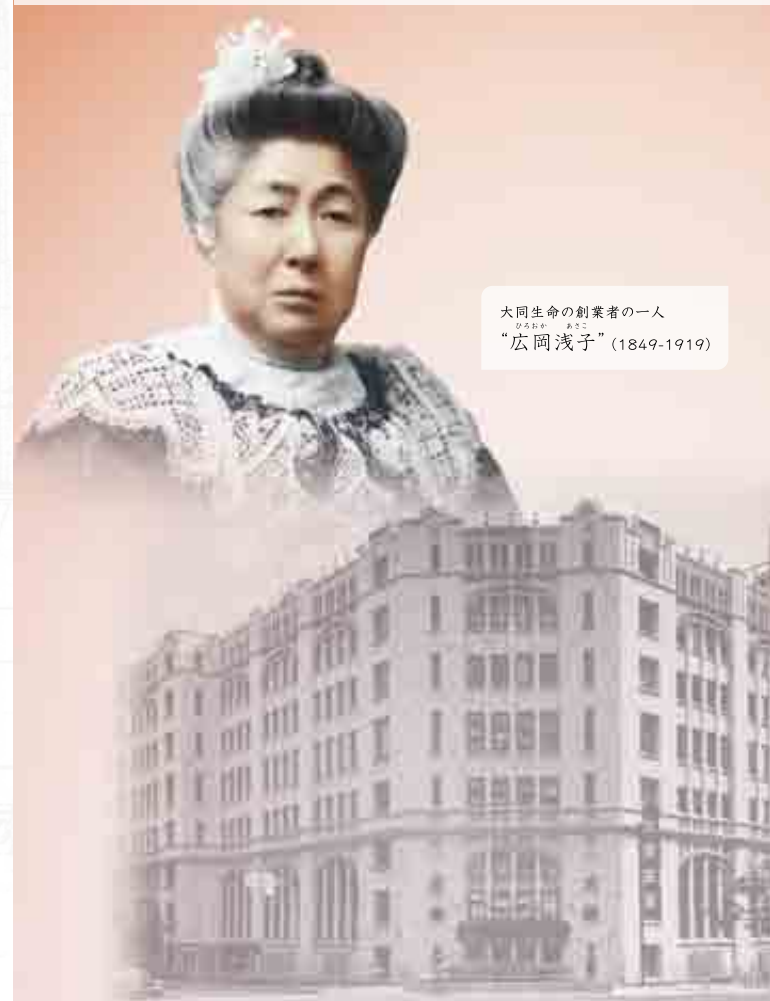


DAIDO  
大同生命

大同生命保険株式会社 特別展示

# 大同生命の源流 “加島屋と広岡浅子”

大同生命大阪本社 2階メモリアルホール



大同生命の創業者の一人  
“広岡浅子”(1849-1919)

旧肥後橋本社ビル

主催：大同生命保険株式会社 後援：大阪市 大阪市教育委員会 大阪商工会議所

DAIDO 大同生命保険株式会社

大同生命保険株式会社

T&D  
T&Dホールディングス

## 大同生命の源流 加島屋



西横堀川より臨む加島屋本家

大同生命の基礎を築いた江戸時代の大坂の豪商「加島屋」。現在の大阪本社ビルのあるこの地に、加島屋は店を構えていました。

江戸時代初期に精米業から身を起こしたと伝えられている加島屋は、当時経済の中心地であった大坂で屈指の豪商となりました。その活躍には、当時世界最先端の金融市場と言われた堂島米会所のシステム、そして収益の大きな柱となった大名貸しなどの画期的なビジネスモデルがありました。

大同生命では2012(平成24)年の創業110周年を機に、これまであまり紹介されてこなかった加島屋の実像を、当社が所蔵する貴重な歴史資料を元にご紹介する取り組みを始めています。江戸時代、「天下(諸国)の台所」と呼ばれ経済・物流の中心であった大坂の姿とともに、当時の最先端の企業である「加島屋」についてお楽しみ下さい。

## 《展示案内》

### 大坂の豪商・加島屋

- ◆大同生命の源流 加島屋 ◆加島屋と堂島米会所 ◆加島屋と大名貸し～米経済から貨幣経済へ～
- ◆加島屋と関係のあった人々 ◆幕府と加島屋のかかわり

初代加島屋久右衛門正教(富政)から続く加島屋の歴史、活躍の舞台である世界最先端の金融市場ともいわれた堂島米会所、そして大名貸しを中心とした加島屋のビジネスモデルを紹介するとともに、江戸時代、幕府の金融政策における加島屋の関わり、また新撰組など歴史上の著名な人物と加島屋の繋がりを、当社に残る資料や記録からご紹介します。



中津藩判書帳



新撰組借用書

### 九転十起生・広岡浅子

- ◆広岡浅子—九転十起生の生涯— ◆浅子を取りまく人々
- ◆経営者としての広岡浅子—浅子直筆の書簡より

大同生命の創業者の一人、広岡浅子。九転十起の精神で実業界に身を投じ、炭鉱、銀行、生命保険と多くの事業を手掛けました。そんな彼女の生涯と活躍を、ともに生き、支えあった家族や実業界の人物との関係とあわせてご紹介すると同時に、浅子が日本女子大学校創設者・成瀬仁蔵に宛てた直筆の書簡から、経営者・広岡浅子の姿に迫ります。



広岡浅子  
(1849-1919)



浅子が成瀬仁蔵に宛てた直筆の書簡  
(所蔵:日本女子大学)

### 大同生命の創業から現在

- ◆大同生命の創業～加入者本位と堅実経営 ◆創業後の躍進と戦時下の経営
- ◆大同生命の挑戦と創造 ◆大同生命の社会貢献

大同生命は1902(明治35)年、朝日生命・護国生命・北海生命の生保3社が合併し誕生しました。大同生命の創業とその後の躍進を導いたリーダーたちをご紹介するとともに、大同生命が激動の昭和を通じて確立した独自のビジネスモデルと今日に至るまでの歩み、さらに加島屋から続く積極的な社会貢献活動の一端をご紹介します。



合併契約書



東京証券取引所への上場